

埼玉県スポーツ推進計画(案)県民コメント実施結果
(埼玉県スポーツ推進計画(案)に対する御意見と県の考え方)

No.	該当ページ	御意見の内容	意見数	県の考え方
第1章 計画の策定に当たって				
1	P3	社会的課題の解決について、施策の展開の中でも、具体的に分かりやすい内容は見受けられない。スポーツを通じて、様々な社会問題に対する支援が広がるような取組について、具体的に分かりやすい内容を盛り込んでどうか。	1	スポーツ推進に関する施策について着実に実施していくことにより、スポーツを通じて様々な社会的課題の解決を図ってまいります。 →【修正なし】
第2章 本県におけるスポーツの現状及び課題				
1 第1期計画(平成25年度～平成29年度)の達成状況				
2	P10～16	スポーツ実施率が低い40歳代女性のスポーツへの参加が今後の課題である。具体的な対応策として、ごく身近なそれぞれの町の集会所等で行う「女性だけのラウンドダンス」の輪を広げることも一案ではないか。	1	施策1「スポーツ参画人口の拡大」の「(1)スポーツムーブメントの創出」の主な取組「ニュースポーツやスポーツ・レクリエーション活動の普及の推進」、「幼児から高齢者までの各ライフステージに応じたスポーツの推進」を通じ、様々なスポーツ・レクリエーション活動の活性化を図ります。 →【修正なし】
2 県民のスポーツ活動の状況				
3	P20～22	障害者スポーツを認知されている方が圧倒的に少ないと感じられることから、まずは「障害者スポーツを知る」ということでスポーツ観戦の機会やメディアでの露出を増やす取組が必要である。	1	施策1「スポーツ参画人口の拡大」の主な取組「障害者スポーツの普及・啓発」や「スポーツ関連情報の提供」を通じ、スポーツイベント開催時に障害者スポーツを体験する機会の提供や観戦機会の情報発信やマスコミの活用を充実させます。 →【修正なし】
4	P32～33	使用可能なスポーツ施設の予約状況を一元的に確認できる仕組みがあれば良いと思う。現状でもネット予約は可能だが、網羅されているとは言い難く、個別に探している。また、予約対象に含まれていない施設がまだまだ多いと感じる。	1	施設の管理者ごとに予約に関するシステムが異なるため、一元的な確認は困難ですが、施設利用者の利便性を高めるよう努めてまいります。 →【修正なし】
5	P32～33	新規施設を増やさなくても、現存する資産を有効活用することで潜在的なスポーツ需要の掘り起こしは可能である。	1	施策1「スポーツ参画人口の拡大」の「(5)身近でスポーツに親しめる場の充実」を通じ、身近なスポーツ施設である県立学校体育施設の開放の推進や大学・企業等のスポーツ施設開放を働き掛け、オープンスペース等スポーツ施設以外のスポーツの場の創出等を推進します。 →【修正なし】
第3章 計画の基本となる理念と目標				
(意見なし)				
第4章 スポーツ推進に関する施策				
施策1 スポーツ参画人口の拡大				
6	P43	スポーツ参画人口の拡大については、スポーツをやりたくても民間のスポーツクラブしか思いつかないので、参加しやすい場所やイベントがあったらいいと思う。	1	施策1「スポーツ参画人口の拡大」の「(1)スポーツムーブメントの創出」の主な取組「新たなスポーツ体験機会の提供と情報発信」や「広報・情報発信の充実」を推進し、誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の提供に努めます。 →【修正なし】
7	P43	施設数の増加(インドアであればなお良い)と交通の便の改善が必要である。休日にスポーツをするビジネスマンにとっても、(公営スポーツ)施設の数も少なく、駅からも離れているため、結果的に、会費を払い、手軽に計画的に活動できる民間のクラブを利用している。(主に平日に利用する、子育て世代についても同様であるが。)	1	施策1「スポーツ参画人口の拡大」の「(5)身近でスポーツに親しめる場の充実」を通じ、身近なスポーツ施設である県立学校体育施設の開放の推進や大学・企業等のスポーツ施設開放を働き掛け、オープンスペース等スポーツ施設以外のスポーツの場の創出等を推進します。 →【修正なし】
8	P43	スポーツ人口を増やすためには、場所の確保・増加、仲間作り、道具など設備の必要がある。公立学校の設備を利用した施設数増加は、名案だが、貸し出すだけでなく、スポーツ指導員などを設置し、市民講座のスポーツ版を作れば、一人でも気軽に参加でき、仲間ができることで、継続して活動する人増加につながるのではないかと。	1	施策1「スポーツ参画人口の拡大」の「(4)スポーツ人口の拡大をさせるスポーツ人材の育成」の主な取組の中で、指導者やスポーツ推進委員、スポーツボランティアなどの育成、活用を推進します。その活動の場として、市町村でスポーツに関する講座を展開する中で、身近に親しめるような取組を推進します。 →【修正なし】
9	P43	毎年多くの人が行う「健康診断」と同様に、「体力テスト」の実施を行うべきである。健康診断のように自分の体力・必要とされる体力を数値化すると自分に足りないものが見えて、取り組むきっかけになるのではないかと。	1	各市町村で実施されている成人向けの「体力テスト」について、健康長寿埼玉プロジェクト等の普及と併せて、市町村と連携し、当テストへの参加を促進していきます。 →【修正なし】

No.	該当ページ	御意見の内容	意見数	県の考え方
10	P43	若い方がスポーツをすることができる環境を整えるには、託児設備があるといいと思います。	2	御意見の趣旨を踏まえ、計画案を修正します。 施策1「スポーツ参画人口の拡大」の「(2)ライフステージ、ライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進」の主な取組「幼児から高齢者までの各ライフステージに応じたスポーツの推進」の中に「子育て世代が参加しやすいようにするための託児対応への配慮」について盛り込みます。 →【修正】
11	P46	障害者スポーツの普及・啓発については、障害者の方々を集めたイベントを継続することに加えて、広く一般の方が参加するイベントに障害者の皆さんも一緒になって参加できるように指向していくことが普及・啓発につながる。 例えば、我が社では社員にメールでメールマガジンを配信し、オリ・パライベントや障がい者スポーツ大会、当社グループの行政連携イベントの情報を共有している。当社所属の選手が出場する大会では、添付のURLから簡単にエントリーができ、当日は無料で観戦し、応援グッズの特典もある。このようにアクセスしやすい情報を個別に発信することで、障がい者スポーツに接する機会が増え、実際に活躍する選手が自分の会社にいると知ること、障害者スポーツが身近に感じられ、関心を高めることにつながる。	1	イベントの参加促進や身近なところに選手がいることを知ることにより障害者スポーツへの関心を高める取組は効果が高いものと考えます。同様の取組について各市町村や企業などに周知を図るとともに、県としてもアスリートの紹介など障害者スポーツがより身近に感じられる情報発信を推進します。 →【修正なし】
12	P47	地域のスポーツ団体の活動の支援とあるが、実態として体育協会やレクリエーション協会、スポーツ少年団などが地域スポーツの中心を担っており、総合型地域スポーツクラブを特出する必要はないのではないか。また総合型地域スポーツクラブの質的充実については前に記述があり、二重に記述する必要はない。	1	本計画は、スポーツ基本法の規定により国の第2期スポーツ基本計画を参酌して策定しております。国の基本計画の中で、地域で身近にスポーツに親しめる場として、総合型地域スポーツクラブについて者込まれていることから、本計画にも反映しております。 →【修正なし】
13	P47	会社員が仕事帰りなどで地域スポーツへ参加することを、広報等で募集をかけても、実現しない。そこでスポーツ推進委員が企業等に連携を依頼することなどを検討してはどうか。	1	スポーツ活動の推進を図る上で、官民連携を進めることは重要と考えます。県、市町村、民間企業が連携し、施策1「スポーツ参画人口の拡大」の「(2)ライフステージ、ライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進」の職場ぐるみのスポーツ活動を進めていきます。 →【修正なし】
14	P48	誰でも週一回は運動ができるよう、歩いて行ける範囲の、身近なところにウォーキングやジョギングコースを整備していただきたい。	1	個別の施設や設備の充実については、各地域の実態や施設整備の状況が異なるため、計画の中で具体的には盛り込むことは困難ですが、御意見の趣旨を踏まえ、施設の安全性の確保や利用のしやすさの向上に努めます。 →【修正なし】
15	P48	公園では子供が球技に親しめるところが少ないので、ボールが使える公園を増やしていただきたい。	1	
16	P48	公園のトイレについて、和式ではなく、誰もが長時間スポーツを楽しめるように、整備が進んでいる駅のトイレのような洋式や障害者用のトイレを整備してもらいたい。	1	
17	P48	熊谷の陸上競技場は周りのコンクリートが劣化して危険な状態にあるので、早急に改修していただきたい。同時に雨や日差しを避ける屋根を大きくするなど、その他の環境も改善していただきたい。	1	
18	P48	上尾駅から陸上競技場までの道路が大会等で大勢の人が向かう時に危険な状況にあるので、アクセス面を含めてスポーツ施設を整備していただきたい。	1	
19	P48	スポーツへの興味を小さい子供のうちに持たせる事が重要である。昔は子供だけで遊べる空間がたくさんあったが、今は子供同士で集まり走り回るスペースが近くにない。日曜日には運動場所を大人と子供が取り合いになり、子供が追い出されることもある。子供たちが気軽に運動できる公園をもっとつくってほしい。	1	子供の頃からスポーツに親しむ機会を持つことは、生涯にわたるスポーツ活動を推進する上で、大変重要です。一方、公園などの施設整備には限りがある中で、施策1「スポーツ参画人口の拡大」の「(5)身近でスポーツに親しめる場の充実」を通じ、公園施設の利便性の向上、スポーツ施設以外のスポーツの場の創出やスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなど地域のスポーツ活動の推進を図ります。 →【修正なし】
20	P48	スポーツ少年団への補助金を増やし、スポーツ少年団がクラブチームとなれば、保護者の負担が減り、子供にスポーツを勧める保護者が増えるのではないかな。	1	補助金の増額について本計画に盛り込むことは困難ですが、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなど地域スポーツの担い手に関する情報発信や指導者の資質向上に向けた研修会等の開催を充実を通じ、担い手への支援に努めます。 →【修正なし】

No.	該当ページ	御意見の内容	意見数	県の考え方
施策2 子供のスポーツ活動の充実				
21	P50	運動をしていない子供への働き掛けと同様に運動をしている子供に対しても、過度なスポーツ活動による障害予防の視点など、子供たちを守る内容を盛り込んでほしい。県としてスポーツ団体と連携し、子供の成長に配慮した安全にスポーツ活動ができる環境づくりに努めてほしい。	1	平成28年度から学校検診の中で運動器の項目が必須となり、スポーツ障害の予防を担っていくこととなっていることを踏まえ、施策2の「(1)学校体育の充実」の主な取組「生涯にわたって豊かなスポーツライフを実践するための資質や能力を育み活動の推進」に、定期検診時に行う運動器検診を通じた、過度のスポーツ活動による運動障害予防について盛り込みます。 また、地域における子供のスポーツ活動の充実においても、指導者向け子供の運動障害予防に関する研修の実施について盛り込みます。 →【修正】
22	P51	子供のスポーツ活動の充実については、スポーツをクラブに所属してやっている子と所属していない子に二分され、体力に差が出てしまっているため、身近(学校、地域)にスポーツに参加できる機会が増えるといい。	1	施策2「子供のスポーツ活動の充実」の(3)地域における子供のスポーツ活動の充実を通じ、スポーツ団体との連携による子供向けスポーツ教室や、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団による身近な地域における子供のスポーツ機会の提供など、子供が基礎体力や運動技能を身に付ける取組を進めていきます。 →【修正なし】
23	P51	高等学校の運動部について、内容を多様化したものをのぞみたい。高校生は、全員が激しい競技を行うとは限らず、興味の対象が多岐にわたり、文化系の部活動や大学受験に励む生徒もいる。高校生が、リラックスできる気軽な時間を部活動に求めても良いのではないだろうか。	1	施策2「子供のスポーツ活動の充実」の(2)運動部の充実の中で、国が行う多様なニーズを踏まえた運動部活動の運営の在り方についての実践・調査研究を踏まえ、運動部活動の充実に取り組む旨、盛り込みます。 →【修正】
施策3 スポーツを通じた地域の活性化				
24	P54	スポーツの持つ力、可能性をフル活用する地域活性化に共感でき、推進計画に賛同します。本学も埼玉に立地する自然豊かなキャンパスとして、運動施設の地域開放や人材活用について模索していけたらと思います。	1	施策3「スポーツを通じた地域の活性化」の主な取組「スポーツ施設を活用した地域の魅力づくり」の実施に当たり大学との積極的な連携を進めます。 →【修正なし】
施策4 世界に羽ばたくトップアスリートの輩出				
25	P59	県主催の指導者向け講習会・研修会について、市町村にアンケートを行うなど、地域スポーツの指導者等の意見が反映できるような機会の創出を期待する。	1	施策4「世界に羽ばたくトップアスリートの輩出」の主な取組「指導者等の育成」を通じ、御意見の趣旨を反映していきます。 →【修正なし】
26	P60	次世代のトップアスリートを育成するための環境づくりの推進を強く希望します。産学官が連携し、競技施設の増築、改修やトップアスリートやトップコーチを指導・教員現場により多く導入できるようなシステムづくりなど、より具体的な計画を希望します。	1	施策4「世界に羽ばたくトップアスリートの輩出」の「(3)トップチーム、トップアスリートと地域スポーツの好循環の創出」の実施に当たり、県内大学との積極的な連携を推進し、御意見の趣旨を反映していきます。 →【修正なし】
第5章 計画の推進体制				
(意見なし)				